

教科名	国語	週時間数	4	学年	1
使用教科書 及び 副教材等	現代の国語1 (三省堂) 中学書写一・二・三年 (光村図書) 国語スイッチ1 (正進社) すらすら基本文法 (浜島書店) 学習漢字ノート1 (浜島書店)				

指導の重点	「学ぶ意欲」 「表現力」 「知識・技能」		
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、国語に対する興味関心を高める。 ・自分の見方や考え方を深め、表現の仕方に注意して聞き、話し、書くことができるようにする。 ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。 ・国語の基礎的な事項や知識を身につけさせる。 		
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を中心に進める。必要に応じて、ワークシート、ビデオ、資料集、辞書などを活用する。 ・教材によって学習活動は異なるが、発表・音読・スピーチ・作文など生徒一人ひとりの表現活動を取り入れる工夫を行い、興味・関心を高める。 ・漢字の小テストなどを適宜行い、知識を身につけさせる。 ・聞き取りテストを適宜行い、集中して聴く力を身につけさせる。 		
定期考査	出題方針	授業内容を中心に、観点別の問題を出題する。(読解問題・言語・作文問題など)	
	範囲 (予定)	1学期中間	詩 文学 漢字 説明文
		1学期期末	説明文 文法 漢字 文学
		2学期中間	文学 説明文 漢字
		2学期期末	詩 古典 文法 漢字
学年末		文学 文法 漢字	
学習方法 (アドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組む。課題は自分で考える努力をする。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、学習班では自分の考えをはっきりと述べる。 ・見やすく、使いやすい自分のノートを作る。 ・提出物の期限を守る。 ・家庭学習の時間を確保する。 ・読書をしよう。 		

	観 点	評 価 規 準	評価方法
評 価	主体的に取り組む態度 (意欲・関心・態度)	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解しようとしている。 ・語句の意味や用法に注意して、表現のおもしろさをとらえる。 ・日本語のきまりを学習することで、きまりを見つけていくことのおもしろさを感じ取り、自らの言語活動に生かそうとする意欲をもつ。 ・学習班意見を聴き、自分の意見をきちんと伝える。 ・準備を怠らない。 	授業の様子(発表・態度・意欲など) 提出物の内容や提出状況、テスト
	思考・判断・表現 (話す・聞く能力)	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと声で情景をイメージしながら音読できる。 ・自分の意見をはっきりと的確に伝えることができる。 ・相手の声に耳を傾けることができる。 	授業での発言、スピーチ、聞き取りテスト
	主体的に取り組む態度 (書く能力) 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを的確に表現できる。 ・楷書・行書の特徴と、基礎的な書き方について理解し、その知識・技能を生かして書く。 	ノート作成、作文、テスト
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の気持ちをとらえ、その性格や生き方について考えることができる。 ・読み手にわかりやすく伝えるための表現と展開の工夫をとらえることができる。 	授業での様子(発言など)、テスト
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字等について理解できる。 ・ことばの単位、文節の区切り方、接続する語句について理解できる。 ・指示語の指し示す内容を的確にとらえることができる。 	授業の様子、ノート、プリント、テスト 書写

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
一学期	4	読む	朝のリレー	3	<ul style="list-style-type: none"> • これからの国語の学習について説明を聞く。 • 詩の世界を読み取り、自分なりに工夫し、朗読する。 • 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の気持ちの変化を捉える。
		読む	竜	6	
		話す聞く	グループディスカッション	4	
	5	読む 読む	ペンギンの防寒着 クジラの飲み水	2 5	<ul style="list-style-type: none"> • 説明文の基本の構造を理解する。 • 読み手に分かりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。
		言語	ことばの単位・文節の関係	6	
	6	書く	レポート	6	<ul style="list-style-type: none"> • 調べて集めた情報を分析・整理して、まとめ方や順序を考えて文章を構成する。 • わかりやすい説明になるように、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いる。
		読む	空中ブランコ乗りのキキ	7	
7	書く 読む	随筆 字のない葉書	3 4	<ul style="list-style-type: none"> • 場面や登場人物の描かれ方に注意して読む。 • 登場人物判断や行動について、自分の考えをもつ。 • 情報を明確に整理、構成する。 • 登場人物の言動から、人柄や心情を読み取る。 	
	二学期	9	読む		防災に関するデータ 「みんなにいるから大丈夫」の怖さ
書く			行事案内リーフレット	6	
10		古典	竹取物語	6	<ul style="list-style-type: none"> • 目的と相手を明確にして集めた情報を分類・整理して、わかりやすく構成する。 • 古典にはさまざまな作品があることを知る。 • 古典に対する興味や関心を持つ。 • 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれる。
			矛盾	6	
11		書写	毛筆、硬筆	6	<ul style="list-style-type: none"> • 現代に生きる故事成語について理解を深める。 • 小中美術展、文化発表会への出品をめざして楷書・行書の練習。
		読む	玄関扉	5	
12		話す聞く	情報	4	<ul style="list-style-type: none"> • 文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。 • 玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもつ。 • 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。 • なり変わったものの特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などについて交流する。
		書く	変わり身の上話	2	
		読む	それだけでいい	3	
12		読む	少年の日の思い出	7	<ul style="list-style-type: none"> • 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の意見を持つ。 • ふだんの生活を振り返って、書くための材料を集め、伝える内容を考える。 • 場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 • 作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもつ。
		文法	単語の類別、品詞	4	
三学期		1	読む	意味と意図	7
	2	書く	意見文	6	
	3	読む	トロッコ	8	

*言語（漢字を身につけよう・ことば発見）は各単元の間で学習する（10時間）